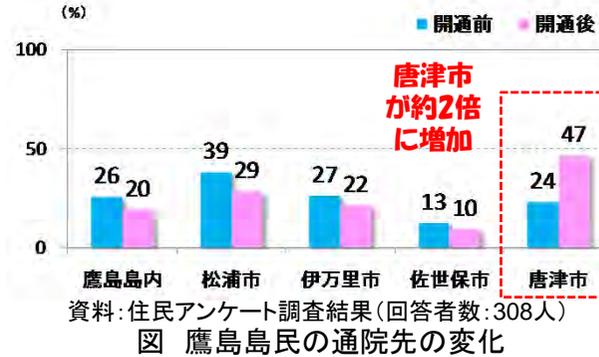


住民の通院を支援し、安定的な救急搬送が可能に

- 松浦市鷹島は離島のため、島外(九州本土)へ出掛ける際は、フェリーでの移動を余儀なくされ、移動の際に時間的な制約も発生していました。
- このような中、鷹島肥前大橋の開通は、鷹島～唐津市方面間のバス等、陸路での移動を可能にし、日常的な通院を支援するとともに、陸路による安定的な救急搬送が可能となった。

通院先が唐津市へシフト、さらにバスでの通院も可能に

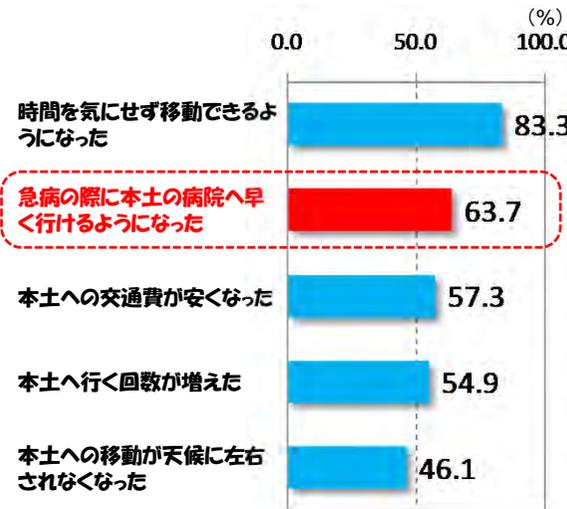


バス利用者は平日が多く、高齢者の方が通院で利用していることが多いと思います。なお、高齢者向けには、「シルバーパス」という定期券を発行し、利用促進を行っています。

資料: バス会社ヒアリング調査結果



鷹島肥前大橋開通により急病の際の安心感が向上



※回答割合の高かった上位5つのみを記載
資料: 住民アンケート調査結果(回答者数: 466人)

図 鷹島肥前大橋開通により良くなったこと

「陸路」と「フェリー」により、状況に応じた搬送が可能に



フェリーを利用した搬送もありますが、陸路でも搬送可能であり、状況や行き先に応じた使い分けができるようになりました。

資料: 松浦市消防本部ヒアリング調査結果

開通前は1年で10回以上も夜間臨時便により救急搬送をすることもあり、大変でしたが、開通後は0件となり、夜間に臨時便を運航する負担がなくなりました。

資料: 船舶会社ヒアリング調査結果

